

原料費調整制度に基づく2023年2月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1㎡あたりの単価)で毎月調整します。なお、激変緩和対策期間のため、政府の支援による30円/㎡(税込)の値引きが適用されています。

今回の調整は、2022年9月から2022年11月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
3ヵ月の平均原料価格			→		反映		
			→		反映		
				→		反映	
					→		反映

○2023年2月検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (1か月あたり)	調整単位料金(1㎡あたり)	
			2023年1月検針分	2023年2月検針分
料金表 A	0㎡から11㎡まで	786.50円	277.94円	247.28円
料金表 B	11㎡超～115㎡まで	891.00円	268.47円	237.81円
料金表 C	115㎡超～	1,961.30円	259.15円	228.49円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 54,690円/トン**

2022年9月から2022年11月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	152,010円/トン(10円未満四捨五入)
2022年9月から2022年11月のプロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	96,380円/トン(10円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 $152,010\text{円/トン} \times 0.9711$ $+ 96,380\text{円/トン} \times 0.0460$	152,050円/トン (10円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定 (平均原料価格 - 基準平均原料価格)	$152,050\text{円} - 54,690\text{円} = 97,300\text{円/トン}$ (100円未満切り捨て)
原料価格1トンにつき100円変動した場合のガス料金1㎡あたりの価格変動額	0.075円
ガス料金激変緩和対策事業による支援単価(1㎡あたり)*	-30円(税込)
2023年2月分検針の調整額(1㎡あたり)	$97,300\text{円} \times 0.075\text{円} \div 100 \times 1.10 = 80.27\text{円}$ (小数点第3位切り捨て) $80.27\text{円} - 30\text{円} = 50.27\text{円(税込)}$
2023年1月分検針の調整額(1㎡あたり)	80.93円(税込)
(2月分)対(1月分)増減(1㎡あたり)	-30.66円(税込)

2023年2月分の単位料金を1㎡あたり +50.27円(税込)調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1か月のご使用量	2023年1月分料金	2023年2月分料金	影響額
20㎡	6,260円	5,647円	-613円

※詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金激変緩和対策特設サイト」をご覧ください。
(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>)